

令和3年度 碧南市学校給食センター運営審議会 会議録

1 日時

令和3年7月27日（火）午後1時30分から午後2時20分まで

2 場所

碧南市学校給食センター 2階会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

水野浩平、板倉尚子、三島知彦、奥谷麻紀、磯貝寛尚、小林清彦、立花明德、加藤誠、多田宏明、石川政仁、生田弓恵

(2) 欠席者

石川順也、小島広明

(3) 事務局

教育長 生田弘幸、教育部長 岡崎康浩、学校給食センター所長 岩月保、主事 水野景子、栄養教諭 谷麻美、都築はるか、早川直美、矢島響子

4 傍聴者

なし

5 議題

(1) 報告事項

令和2年度碧南市学校給食実施状況について

(2) 協議事項

令和3年度碧南市学校給食実施計画について

6 議事の要旨

(1) あいさつ（板倉会長、生田教育長）

【板倉会長】

梅雨が明けてから30度以上の日が続き、息切れする程の暑さです。

今、新型コロナウイルス感染症は若い人を中心に感染拡大し、小児の重症例も報告されています。オリンピックの開催により、更なる感染拡大も懸念されています。ワクチン接種が進まない中、自粛疲れもありますが、引き続き感染対策が必要です。

学校給食は体の健康を考えて作られています。黙食ではなく、楽しい給食

の時間を過ごすことは、心の健康にもつながります。1日も早く感染症が終息し、元の生活に戻れることを祈っています。

【生田教育長】

コロナ禍ではありますが、学校生活において思い出となる修学旅行やみどりの学校につきましても、日にちや場所を考慮しながら、今年度もできる限り実施したいと考えています。

給食は、学校生活における楽しみの一つでもあります。栄養教諭は栄養面や児童生徒の好みを踏まえ、予算も考慮しながら献立を作成しており、給食センターは、重要な役割を担っています。

(2) 自己紹介（省略）

(3) 副会長指名

会長より立花明德氏を指名

(4) 碧南市学校給食センターの概要説明

(5) 議題

ア 令和2年度碧南市学校給食実施状況について

事務局が資料に基づき、学校給食の実施状況について説明。

質疑はなく、原案のとおり了承された。

イ 令和3年度碧南市学校給食実施計画について

事務局が資料に基づき、学校給食の実施計画について説明。

質疑はなく、原案のとおり了承された。

(6) その他

衣浦東部保健所食品安全課水野課長より、H A C C Pに沿った衛生管理の制度化、食中毒の発生状況等について、近年の動向、注意すべき点等をお話しいただいた。

【水野課長】

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策により手洗いや消毒を徹底することで、一昨年より食中毒の発生件数は減りましたが、患者数は大きく変わらず、年間を通じて発生しています。食中毒予防は、①清潔（菌・ウイルスをつけない）、②迅速・冷却（菌を増やさない）、③加熱（菌・ウイルスをやっつける）の3原則を守り徹底して実施することが重要です。

< 質疑応答 >

【委員】給食センターの概要10頁、主要事業一覧表のうち、令和元年度から3年度にかけて、全体の予算が増加しています。特に、施設維持管理事業の予算が約600万円増加、(株)ヘキナンシティカンパニー委託事業については約1,800万円増加していますが、特別な理由はありますか。

【事務局】施設維持管理事業は、年々、施設の老朽化に伴い、大規模な修繕が増えていきます。また、(株)ヘキナンシティカンパニー委託事業については、委託業務の追加、消費税の増税や備品購入の増加が挙げられます。

【委員】今回の資料では契約内容は記されていませんが、予算が大きく増加しているため、理由を明確にし、税金のコスト管理や費用対効果を高める努力が必要と考えます。

【事務局】契約にあたっては、必要に応じて内容の改定を行っています。今後も業務を精査して運営してまいります。